

ABIC 国際社会貢献センター

Information Letter

No. 55 2019年7月

第58回理事会・第19回通常総会を開催	2
2018年度事業報告	2
2019年度事業計画	5
2018年度決算および2019年度予算	6
役員等	6

政府機関関連への協力	初めてのタンザニアで、日々暗中模索！	7
-------------------	--------------------	---

外国企業支援	FOODEX JAPAN 2019（第44回 国際食品・飲料展） ウクライナパビリオンでのロシア語通訳サポートに参加して	8
---------------	---	---

留学生支援	兵庫国際交流会館での活動	9
	東京国際交流館での活動	9

ABIC事務局組織	10
会員の種類	11
法人・個人正会員／賛助会員一覧、活動会員数	11
賛助会員入会のお願い	12

特定非営利活動法人 国際社会貢献センター (ABIC)
Action for a Better International Community

www.abic.or.jp

〒105-6123 東京都港区浜松町2-4-1
世界貿易センタービル23階
Tel : 03-3435-5973 Fax : 03-3435-5970
e-mail : mail@abic.or.jp

(関西デスク) 〒541-0053 大阪市中央区本町4-4-24
住友生命本町第2ビル9階
Tel & Fax : 06-6226-7955
e-mail : kansai-desk@abic.or.jp

第58回理事会・第19回通常総会を開催

5月31日（金）、日本貿易会会議室において第58回理事会ならびに第19回通常総会がそれぞれ開催されました。議題として①2018年度事業報告および収支決算、②2019年度事業計画および活動予算、③役員の新補充選任、④常務理事の互選が審議され、いずれも原案通り承認されました。

また、山口俊之 常務理事・事務局長（双日より出向）が退任し、後任として宮崎浩志氏（三井物産より出向）が就任することが決まりました。山口前常務理事・事務局長は、今後は参与としてABICの活動を支援することになりました。

副会長には、柿木真澄 丸紅社長が新たに委嘱されました。



山口俊之 前常務理事・事務局長退任あいさつ

2016年6月、事務局長に就任した際に「ボーイスカウトで培った奉仕の精神、音楽で養成したリズム感、バスケットボールで鍛えたジャンプ力を使い、社会のため、ABIC発展のため、明るく・楽しく・生き生きと活動できる場を設け、社会貢献に全力で取り組みたい」と申し上げ、3年間、一杯やってみりました。毎日毎日、会員の皆さまの社会貢献活動を見たり聞いたりするたびに感銘を受け、感謝の気持ちが湧き、「自分ももっと」という思いがいつも起きていました。これから私はABICの活動を外から支え、「自分ももっと」だけではなく「社会全体でもっともっと」という社会貢献の好循環が生まれるように影ながら尽力したいと思います。ABIC設立20周年を前に宮崎さんにバトンを渡します。



宮崎浩志 常務理事・事務局長就任あいさつ

皆さま、4月15日に三井物産より出向、着任しました宮崎浩志です。私は、入社以来繊維関係の営業に携わり、海外駐在はイラクなど中東地域を、国内は本店以外に、大阪、名古屋、広島でも勤務する機会に恵まれ、さまざまな人との出会いや新たな仕事にチャレンジできたのはとても大切な財産です。

ABICは設立から20年を迎えますが、登録会員の皆さんの「志」にしっかりと寄り添い、日本貿易会の社会貢献を実行する母体として多様化するニーズ・シーズを他NPO団体などと連携し、対応力の強化と活動領域の拡充に取り組んでまいります。引き続き皆さま方のご支援・ご協力のほど何卒よろしくお願い申し上げます。



2018年度事業報告

活動分野	主要事業	主な活動状況	活動実績（延べ人数）		
			2017年度	2018年度	00～18年度累計
政府機関	ODA関連等への人材推薦・紹介、政府関係諸事業の受託、本邦中小企業支援事業関連への人材推薦・紹介、セミナーへの講師派遣等	<ul style="list-style-type: none"> 海外での活動：JICA海外長期・短期専門家（エジプト、タンザニア）、国際交流基金「日本語パートナーズ派遣事業」支援員（同事業開始以来の会員の合格者は13名）、在ロシア日本センター研修事業講師（4名）派遣。 国内での活動：JETRO新輸出大国コンソーシアム専門家（エキスパート事業・パートナー事業）、JETRO輸出有望案件発掘支援事業専門家、中小企業基盤整備機構の国際化支援アドバイザーに会員を派遣。 文部科学省「住環境・就職支援等留学生受入れ環境充実事業委員会」、国際交流基金「日本語パートナーズ派遣事業委員会」、放送番組国際交流センター「番組評価委員会」等の委員を務めた。 農林水産省、経済産業省、中小企業庁等とのコンタクトを行い、公募案件への推薦・紹介・受託による活動を行った。 	166	82	1,708
国際機関 NGO/NPO	人材推薦・紹介、活動強化への協力	<ul style="list-style-type: none"> ABICの活動理解・促進のための面談、活動に関する情報収集、協業を模索し新規に日本香港協会などに会員を紹介した。 	2	6	178

活動分野	主要事業	主な活動状況	活動実績（延べ人数）		
			2017年度	2018年度	00～18年度累計
地方自治体・中小企業支援	地方自治体の推進する中小企業育成支援（販路開拓、海外ビジネス促進等）や農産品等輸出促進・企業誘致等への協力および中小企業、諸組織への直接支援・協力（海外進出・経営支援等）	<ul style="list-style-type: none"> 地方自治体および関係する中小企業等との取り組みの推進（国内販路開拓支援、海外展開支援等）：①年間業務委託＝和歌山県およびわかやま産業振興財団、やまぐち産業振興財団、鳥取県産業振興機構、石川県、宮崎県、横浜市、品川区への支援・協力。②人材紹介・推薦＝青森県物産振興協会、福島県および福島県貿易促進協議会、茨城県中小企業振興公社、東京都中小企業振興公社、千葉県産業振興センター、埼玉県産業振興公社、岐阜県産業経済振興センター、滋賀県よろず支援拠点、彦根市、東大阪市産業創造勤務者支援機構（クリコア）、神戸市海外ビジネスセンター、高知県産業振興センター、京都高度技術研究所への支援・協力。新規に北海道（枝幸町）、富山県（伏木富山港ポートセールス事業推進協議会）、石川県（海外セールスステップ）、高知県（津野町）などでの取り組みを開始。③各種セミナー等への講師派遣。 自治体国際化協会（クレア）プロモーションアドバイザー。中小企業基盤整備機構主催の中小企業海外ビジネスサポート（SWBS）相談会への参加に伴う直接の企業支援。その他、個別企業支援を26社に対して行った。 地方自治体、中小企業・団体における会員の活動が評価され、継続採用となったり、人材支援要請が企業や会員経由等各所からあり、活動機会が広がった。 	794	994	8,438
外国企業支援	外国企業の日本進出・販路開拓支援および日本企業海外赴任者研修等	<ul style="list-style-type: none"> ナノテクノロジー国際総合展やFoodex 2019でのバイリンガル・ビジネス・アドバイザーを海外企業等から直接要請を受け会員を派遣。香港の著名大学学生の日本での企業訪問・インターンシップ研修を継続して支援し、将来を担う海外からの若者の対日意識を深めてもらった。 企業の海外赴任前研修について、10年以上にわたりおよそ20の国・地域の赴任前研修を実施。今年度は新たにUAE（ドバイ）を請け負った。人材派遣会社での経理研修（簿記検定2級程度取得を目指す）に2講師輪番にて毎月32時間の研修を実施。また2019年度に向けてHRリレーション人事研修を開始予定。年央からは安全保障輸出管理研修を企画中。 	144	180	1,219
教育	大学および社会人講座等での講座実施	<ul style="list-style-type: none"> 年間で38大学・組織へ講師を派遣。年間講座数81、コマ数1,376を実施。昨年度比で対象組織数は横ばい。年間講座数は増加したが、会員の活動実績は減少した。授業を行う前の勉強会（第12回ABIC大学・EC講座 講師勉強会（大学で授業を行うための講習会））を開催し、多くの会員に講師の機会を提供した。また、英語による講義に対応すべく、英語教授法の勉強会も内容をレベルアップして継続実施し、会員の活動機会提供に努めた。 和歌山県農林大学校で農産物の輸出戦略に関する講義を新規にスタート。一方、従来の産業論、地域論を核とする授業に加え、新規講座として南山大学、筑波大学でキャリアデザインをテーマとした講義を実施し、東洋英和女学院大学では商社ビジネスの国際貢献というテーマで講義を行った。 東京外国語大学社会・国際貢献情報センターと協働して、オープンアカデミー産学連携国際講座に講師を派遣し、世界に焦点を当てたテーマでの講座を開催した。 近畿大学、摂南大学、四天王寺大学、福井大学、芝浦工業大学など複数の大学とコンタクトしたり、ABICの活動に関連するセミナーなどでABIC大学講座のPRを行い、新規講座獲得に向けて協議を行った。 	300	278	4,981
	小・中・高等学校での授業	<ul style="list-style-type: none"> 国際理解教育、職業講話のための講師派遣、在日外国人児童への日本語指導等 小中高校生や教職員への職業講話や国際理解講話に注力。 横浜商業高校では16年間、大津市立栗津中学校では17年間継続して国際理解教育の授業を実施。また、豊島区立池袋第一小学校、目黒区立東根小学校、三鷹市立第四小学校、墨田区立緑小学校、杉並区立第七小学校でオリ・バラ教育（国際理解教育）を実施した。 海外からの留学高校生と日本の高校生との「高校生国際交流の集い」（1泊2日）を関西学院大学で実施した。 東京都多摩市および新宿区において教育委員会等に協力し、外国籍児童・生徒に対する日本語学習・生活指導支援を実施。 	166	215	1,747
在日留学生（教育）	在日留学生支援・交流	<ul style="list-style-type: none"> 東京国際交流館において日本語広場、日本文化教室（書道、華道、空手、茶道、囲碁、将棋）に多数の会員が講師として貢献するとともに、バザー、フェスティバル等の催しにも協力。兵庫国際交流会館においても日本語広場、日本文化教室（書道、華道、空手）を実施し、館内外より多数の学生が参加した。バザーや文化祭にも協力した。 東京国際交流館と兵庫国際交流会館において日本語学習や生活指導等を通じて留学生交流を継続的に推進してきたことに対して、独立行政法人日本学生支援機構（JASSO）が団体に対して2018年度より定めた「JASSO 功労者顕彰」にABICが初めて選定された。 2006年度から開始した東京国際交流館在住の留学生家族支援（健康診断、子女入園・入学手続き等）を継続し、大変好評を得ている。 	675	654	5,025
国際イベント	国際イベント等への協力	<ul style="list-style-type: none"> 国際大会へのボランティア派遣要請はなし。 	0	0	185

活動分野	主要事業	主な活動状況	活動実績（延べ人数）		
			2017年度	2018年度	00～18年度累計
その他活動・一般人材紹介等	その他活動・一般人材紹介等	<ul style="list-style-type: none"> 会員企業である三井物産の社会貢献事業「在日ブラジル人子女教育支援」で奨学金供与プロジェクト、NPO等支援プロジェクト、カエルプロジェクトを実施。 中央大学/帝京大学/日本文化大学/神田外語大学の教授・講師、日仏会館事務局長が継続。新規に日本工作機械工業会、日本フィランソロビー協会、東西総合リーガルサービスなどに会員を紹介。 ABIC日本語教師養成講座（第24、25期）を実施し16名が受講修了。第1期から25期までの講座修了者232名の内、半数近くが地方公共団体や東京国際交流館において日本語講師として活躍している。 会員企業である双日の本社採用外国人社員に対して対面式ビジネス日本語研修を継続実施し、日本語教師養成講座修了者が対応した。東京外国語大学留学生支援協会の依頼により会員3名が日本語指導を継続実施した。 	200	196	1,752
合 計			2,447	2,605	25,233

活動会員関係	活動会員増強	<ul style="list-style-type: none"> 各社退職者への配布書類に同封。委員会等での活動報告。個別説明（面談・電話）に積極対応。
	活動会員スキルアップ	<ul style="list-style-type: none"> 大学・EC等講座講師勉強会（11月に第12回ABIC大学・EC講座講師勉強会およびTeaching in English in Japanese Universities）を実施。 2006年10月開講の日本語教師養成講座を継続し、今年度は第24、25期合計16名が修了証を取得。
	懇親会	<ul style="list-style-type: none"> 9月11日に東京、3月5日に大阪で会員懇親会を開催。会長、理事長を始め多数の活動会員、関係者が出席して親睦を深めた。
広報活動等		<ul style="list-style-type: none"> 活動会員、関係先向けの「ABIC Information Letter」を発行（年3回 6/12/4月号） 日本貿易会の機関誌『日本貿易会月報』の「ABIC PLAZA」のコーナーでABICの活動報告や活動会員のレポートを毎月掲載。また、『世界経済評論』9・10月号、11・12月号にて日本貿易会との共同広告を掲載するなど、ABICのPRに努めた。新会長就任とともにパンフレットを刷新した。また、ホームページを適宜更新するとともに日本貿易会のホームページにおいてもABICのホームページをリンクした。 6月4日付北海道新聞、9月5日付北國新聞、北陸中日新聞で会員の活動が紹介された。また商社専門誌「ブレーンズ」7月11日号（No2247）および10月17日号（No2260）にてABICの活動が紹介された。 東京都教職員研修、グローバルビジネスサポート2018、大阪産業創造館でのパネルディスカッション「経営課題の解決に公的支援を活用しよう（海外展開編）」、日本商工会議所三村明夫会頭を始めとする個別団体向けのプレゼンを実施。 日本貿易会の協力のもと、活動紹介のロールアップバナー6本を作成し、新春懇親会、会員懇親会などで活用を開始した。 東京国際交流館および兵庫国際交流会館が主催するバザーに協力。また、夏の「交流館フェスティバル」において、ABICが日頃から指導している茶道、華道、書道コーナーを設けて来場者に対応した。バザーは、ABIC活動会員ならびに社会貢献・ABIC委員会経由法人正会員各社役員から多くの品物を寄贈いただき、売上金のほとんどを交流館の行事に役立ててもらおうべく寄贈した。
事務局関係	事務局体制	<ul style="list-style-type: none"> 事務局22名（事務局長1名+職員1名+パート事務職1名+東京CN14名+関西CN5名）、特定プロジェクトスタッフ4名（2018年3月末） ※職員（正社員）として1名を採用。（ ）は兼務者 <p>事務局長： 山口俊之</p> <p>経理・総務： 名鏡敬治、青柳友紀、秋元まゆみ</p> <p>地方自治体・中小企業支援グループ： 川俣二郎、野津 浩、白石一郎、高塚謙次、（松尾謙二）</p> <p>外国企業支援グループ： 西山勝昭、（宮内雄史）</p> <p>大学・EC講座グループ： 猪狩真弓、恩田英治、坂野正典、増井哲治、（森 和重、藤原照明、吉富茂隆、橘弘志）</p> <p>小中高国際理解教育グループ： 宮内雄史、（橘弘志）</p> <p>留学生支援グループ： 田中武夫、鋤形 勲、（鹿志村 馨）</p> <p>中南米デスク： 森 和重</p> <p>関西デスク： 藤原照明、橘 弘志、吉富茂隆、松尾謙二、鹿志村 馨</p>
	事務局運営	常務理事・事務局長（日本貿易会兼務）、総合職職員、経理担当事務職員（常勤パート）

会員状況 (2019年3月末)	正会員	法人	<ul style="list-style-type: none"> 16社、1団体（2018年3月末比増減なし）：伊藤忠商事、稲畑産業、岩谷産業、兼松、興和、JFE商事、住友商事、双日、蝶理、豊田通商、長瀬産業、阪和興業、日立ハイテクノロジーズ、丸紅、三井物産、三菱商事、日本貿易会（社名50音順）
		個人	<ul style="list-style-type: none"> 13名（2018年3月末比1名増）：池上久雄、寺島実郎、小島順彦、宮原賢次、吉田靖男、岡素之、佐々木幹夫、勝俣宣夫、小林栄三、槍田松瑩、市村泰男、齊藤秀久、中村邦晴（敬称略、入会順）
	賛助会員	法人	<ul style="list-style-type: none"> 3社（2018年3月末比増減なし）：イーコマース研究所、エックス・エヌ、賛否両論（社名50音順）
		個人	<ul style="list-style-type: none"> 296名（2018年3月末比18名減）
活動会員		<ul style="list-style-type: none"> 2,912名（2018年3月末比76名増） 	

【年度毎活動実績（延べ人数）】			
2000年度	17	2010年度	1,429
2001年度	237	2011年度	1,390
2002年度	445	2012年度	1,602
2003年度	588	2013年度	1,640
2004年度	569	2014年度	2,070
2005年度	751	2015年度	2,380
2006年度	779	2016年度	2,395
2007年度	1,144	2017年度	2,447
2008年度	1,305	2018年度	2,605
2009年度	1,440		

2019年度事業計画

活動分野	主要事業	重点活動内容	延べ人数	
			2018年度実績	2019年度目標
政府機関関連	ODA関連の人材紹介、政府機関諸事業の受託、人材育成セミナー等への講師派遣	<ul style="list-style-type: none"> 海外での活動：JICA「海外専門家」「シニア海外ボランティア」、国際交流基金「日本語パートナーズ派遣事業」「日米交流ファシリテーター」「日本語教育サポーター」、内閣府「対米広報短期派遣事業」、在ロシア日本センター研修事業等への人材紹介・推薦。 国内での活動：JETRO「中小企業海外進出支援嘱託職員、貿易相談員」「新輸出大國コンソーシアム事業」、中小企業基盤整備機構「中小企業支援事業アドバイザー」、海外産業人材育成協会（AOTS）での研修講師等の人材紹介・推薦。 内閣府、経済産業省、外務省、文部科学省、農林水産省、観光庁、国際協力基金、JETRO、JICA、AOTS等と関係機関とのコンタクト維持・強化。 	82	90
NGO/NPO等非政府機関	NGO等への人材紹介、活動への協力	<ul style="list-style-type: none"> NGO、NPOの関係機関などへのABIC活動の理解・促進に努める。 NPO、NGO主催のイベントへのボランティア人材紹介。 	6	10
地方自治体・中小企業支援	地方自治体の国際化・中小企業の販売促進活動・海外進出・経営支援・協力、中小企業への直接支援	<ul style="list-style-type: none"> 年間業務委託契約締結先の地方自治体（和歌山県/わかやま産業振興財団、山口県/やまぐち産業振興財団、高知県/移住促進・人材確保センター、鳥取県/産業振興機構、石川県、福井県、宮崎県など）との関係強化。新規地方自治体との業務委託契約の獲得。 現協力先の自治体（大阪府・東大阪市共同のクリエイションコア、大阪国際経済振興センター、神戸市産業振興財団、神戸市商工会議所、滋賀県/産業支援プラザ、福島県、茨城県、岐阜県、埼玉県等）との関係維持。新規自治体に対してABIC活動の理解・促進に努める。 商工会議所や中小企業からの直接支援要請への即応。 	994	1,000
外国企業支援	外国企業の日本進出・販路開拓支援および海外赴任者研修等	<ul style="list-style-type: none"> 国際見本市や海外からの各種ミッション、在日大使館、来日外国企業の商談等への協力。外国機関駐日オフィスとのコンタクト維持・強化。 在日外国企業との連携強化。海外赴任者研修講師派遣（含、日本貿易会との協働）。 	180	200
教育	大学および社会人講座	<ul style="list-style-type: none"> 実施大学・組織およびコマ数の維持を図りつつ、講師陣の拡充を図る。新規大学・新規講師の発掘に積極的に努める。 提案型講座の拡大。 2006年1月に包括協定締結の立命館APUとの関係維持。 2003年12月に連携協力協定締結の関西学院大学との各種協力関係の維持・拡大（講座維持、国際理解教育協力等）。 グローバル人材育成推進大学へのアプローチ（東洋英和女学院大学、近畿大学、摂南大学、筑波大学、関西学院大学、亜細亜大学など）。 	278	230
	国際理解教育支援等	<ul style="list-style-type: none"> 小中高校での講義・講演先の開拓。文部科学省、自治体教育委員会との連携強化。 オリンピック・パラリンピックを見据えた国際理解教育の取り組み強化。 新宿区や多摩地区の小中学校における外国人児童・生徒（外国にルーツを持つ児童・生徒向け）への日本語指導を通じた支援。 	215	250
在日留学生支援	在日留学生支援	<ul style="list-style-type: none"> 東京国際交流館、兵庫国際交流会館における日本語広場（日本語教室）、日本文化教室への講師派遣。バザー、フェスティバル等の催事への協力。 東京国際交流館在住の留学生家族支援ボランティア（妊娠、出産、通院、育児、健康管理、入園・就学等）活動の充実。 	654	650
国際イベント等	イベント等への協力	<ul style="list-style-type: none"> オリンピック・パラリンピック東京大会など各種イベントとの関係模索。 	0	10
その他活動・一般人材紹介等	その他活動・一般人材紹介等	<ul style="list-style-type: none"> 法人会員各社の社会貢献活動への支援・協力。 三井物産「在日ブラジル人子女教育支援」プロジェクトへの新たな取り組み実行。 大学、専門学校等の教授・講師、NPO、NGO官公庁の機関を主体とした人材の紹介。民間企業への人材紹介発掘。 ABIC日本語教師養成講座教師に加え、社会貢献に資する求人への積極的対応。 	196	200
合計			2,605	2,640

活動会員関係	活動会員勧誘	<ul style="list-style-type: none"> 日本貿易会 社会貢献・ABIC委員会、運営委員会など各委員会での報告を通じた活動理解およびホームページ等でのABICの認知度を高める。 現活動会員の知己勧誘を実施。
	活動会員スキルアップ	<ul style="list-style-type: none"> 2006年10月より続けている日本語教師養成講座の継続実施。 大学等講座講師勉強会（含、英語授業法）の実施。 個別の勉強会実施。
	懇親会	<ul style="list-style-type: none"> 東京・大阪での開催。
法人会員関係	法人会員勧誘	<ul style="list-style-type: none"> 法人会員増に注力。

広報活動	<ul style="list-style-type: none"> 会員、関係先向けの「ABIC Information Letter」発行（年3回 4/7/12月）。ホームページの更新。 日本貿易会の機関誌「日本貿易会月報」で「ABIC PLAZA」（毎月）、「ABIC虎の巻」（5回連載）の掲載。JFTC News（英文）でABICの活動報告や活動会員のレポートを掲載。 20周年記念シンポジウムの企画・開催。20年史の発行準備。 JFTC特別研究会「SDGsの実現に向けた商社の取り組み」への参画（寄稿）等。 東京国際交流館・兵庫国際交流会館が主催する春・秋のバザーへの協力。「ウエルカムパーティー」「交流館フェスティバル」などでABICのPRや活動を紹介。 独立行政法人国際交流基金「日本語パートナーズ派遣事業委員会」、一般財団法人放送番組国際交流センター「番組評価委員会」などでのABICのステータス構築。 新聞、TV、ラジオ、雑誌等のメディアへの働きかけ。 	
事務局関係	事務局体制	<ul style="list-style-type: none"> 活動方針のベクトル合わせおよびコーディネーター相互の情報交換促進のためグループ別定例会議の開催。 法改正を含むスキルアップのための研修を実施。 関係先や会員に使いやすい至便さ、職員・コーディネーターに快適な事務環境を求め、日本貿易会とともに東京事務所の移転先を検討。 東京本部と関西デスクの連携強化を通じた活動活性化。中部地区での活動拠点新設の模索。
	事務局運営	<ul style="list-style-type: none"> ファンディング（寄付者開拓）の検討。 各種データの整理等、業務改善・効率化への注力。 諸契約、規則・規程の整備・充実。

2018年度決算および 2019年度予算

(単位：千円)

科目	2018年度 決算額	2019年度 予算額
I 経常収益		
(1) 受取会費	6,655	6,680
法人会費	(4,960)	(4,850)
個人会費	(1,695)	(1,830)
(2) 受取寄付金		
(3) 事業収益	80,258	86,690
日本貿易会	(24,192)	(35,640)
その他	(56,066)	(51,050)
(4) 雑収益	1	7
経常収益計	86,914	93,377
II 経常費用		
(1) 事業費用	52,180	55,512
(2) 管理費用	34,609	37,345
経常費用計	86,789	92,857
当期経常増減額	125	520
前期繰越正味財産額	17,359	17,484
次期繰越正味財産額	17,484	18,004

役員等

(敬称略・就任順)

会 長	中村 邦晴	一般社団法人日本貿易会 会長 住友商事株式会社 代表取締役会長
名誉会長	小林 栄三	前当センター会長、前日本貿易会会長 伊藤忠商事株式会社 特別理事
副 会 長	安永 竜夫 垣内 威彦 藤本 昌義 鈴木 善久 貸谷 伊知郎 (新任) 柿木 真澄	三井物産株式会社 代表取締役社長 三菱商事株式会社 代表取締役社長 双日株式会社 代表取締役社長 伊藤忠商事株式会社 代表取締役社長COO 豊田通商株式会社 代表取締役社長・CEO 丸紅株式会社 代表取締役社長
理 事 長	岩城宏斗司	一般社団法人日本貿易会 常務理事
常務理事 (新任)	宮崎 浩志	一般社団法人日本貿易会 常務理事付
理 事	秋山 勇 大野 茂樹 亀岬 睦也 渋谷 誠 (新任) 藤村 武宏 (新任) 森畑 明 (新任) 白江喜実子 (新任) 西山 研介	伊藤忠商事株式会社 株式会社伊藤忠総研 代表取締役社長 住友商事株式会社 サステナビリティ推進部長 一般社団法人日本貿易会 企画グループ長 兼 調査グループ長 双日株式会社 サステナビリティ推進担当副本部長 三菱商事株式会社 サステナビリティ・CSR部長 豊田通商株式会社 総務部長 三井物産株式会社 サステナビリティ経営推進部長 丸紅株式会社 市場業務部企画・国内チーム長
監 事 (新任)	保田 明子	一般社団法人日本貿易会 企画グループ統括主幹
顧 問	池上 久雄 吉田 靖男 三幣 利夫 市村 泰男 齊藤 秀久	初代当センター理事長、元日本貿易会常務理事 元当センター理事長、元日本貿易会常務理事 元当センター理事長、元日本貿易会常務理事 元当センター理事長、元日本貿易会常務理事 前当センター理事長、前日本貿易会常務理事
参 与 (新任)	宮内 雄史 野津 浩 名鏡 敬治 関 伊知郎 山口 俊之	初代当センター常務理事・事務局長 元当センター常務理事・事務局長 元当センター常務理事・事務局長 元当センター常務理事・事務局長 前当センター常務理事・事務局長

政府機関関連への協力

初めてのタンザニアで、日々暗中模索！

タンザニア産業貿易省 産業開発アドバイザー **うえさき まさや** 雅也 (元 住友商事)

私は、現在タンザニア産業貿易省にJICA派遣の産業開発アドバイザーとして勤務している。2015年3月まで住友商事で主に中南米向け電力等インフラ系ビジネスに携わっていたが、アフリカの地を踏んだのは今回が初めてである。2015年4月から東京外国語大学大学院修士課程で「南米の教育問題」に取り組んだ後、発展途上国向け支援に関わりたいたいと考えていた。そんなときABICから本業務の案内が届いた。面接で思いを伝えたところ無事合格通知を受け取り、2018年5月より2年間の予定で着任した。

タンザニアは、1961年に英国から独立したタンガニーカと、スルタンの時代からの自治国家ザンジバルが1964年に合邦して誕生した。国土面積は、日本の2.5倍、人口は、約5千万人。民族（言語）が120以上あるが、歴史的な共通語であるザンジバルのスワヒリ語方言が、初代大統領ニエレレの民族融和策により公用語とされている。1973年までの首都であった人口5百万人のダルエスサラームは最大の都市であるが、現在の法律上の首都は、内陸部の人口40万人のドドマである。着任直後の6月に全公務員の即時ドドマ異動が決まった。急な話だったが、産業貿易省は、国立ドドマ大学学生寮の一部を借りることとなり、私も事務スペースを頂いた。当国は、国家開発計画「タンザニア開発ビジョン」において、2025年までに「中所得国への成長」と「農業から製造業中心経済への転換」を目標としている。

私の任務は、これまでの発展途上国ビジネスと、大学院での研究で得た知見を動員してこの目標実現のお手伝いをする事だ。着任直後に政府関係者から「日本の自動車メーカーを招聘して新車の組み立て生産をしたい」という相談を受けた。しかし左側通行のタンザニアは、日本の中古車



毎年6月下旬から7月初旬にかけて実施される産業見本市の産業貿易省パビリオンで若手官僚たちと（右端が筆者）

に何も手を入れず販売できる絶好の市場であり、市中を走る推定60万台以上の車の9割が、車齢8年から26年程の日本製中古車である。新車の需要は、まだ少ない。さらに、自動車組み立て工場で働ける水準の人材が育っていないという東アフリカ諸国共通の課題が存在する。特にタンザニアは、隣国ケニアやウガンダに比べても初等・中等教育で苦戦しており、その影響が、これまで訪れた国内の工場では工具、治具類の整理整頓ができておらず、建設工事現場でも残材が放置されたままだ。それ故か、日本・欧州の自動車メーカーは、過去自動車組み立て工場をケニアやナイジェリアに立地してきた。学校教育だけでなく家庭教育も含めて、近隣諸国と伍していけないとこの夢は実現しない。幸いJICAがエチオピア、ザンビア等で展開している製造業の生産性向上のための「カイゼン」がタンザニアでも産業貿易省やJICA関係者の努力で徐々に浸透しつつあり、

品質管理の芽は育ちつつあるようだ。私は、車検や定期点検等の導入によりこれら中古車の保守点検水準を強化して、作業に関わる人材のスキルアップを図り、将来自動車組み立て工場で活躍できるような方向性の政策を立案できないか模索している。現在、省内では「新産業開発政策」の立案に取り組んでいる。このスキルアッププランが、私の帰国後も仲間たちの頑張り次第で新政策の一部として実現してほしい。これが私の最大の願いである。



ダルエスサラーム中心街の高層ビル群

外国企業支援

FOODEX JAPAN 2019 (第44回 国際食品・飲料展) ウクライナパビリオンでのロシア語通訳サポートに参加して

なかざわ じゅんいち
中沢 純一 (元 住友商事)

3月5日～8日に幕張メッセで開催されたFOODEXにおいて、ABICから初めてのウクライナ企業のアテンダントを依頼したいとの話があり、喜んでお引き受けすることとした。FOODEXの事務局によれば、今回、規模では過去最大となり、国内1,244社、海外94ヵ国からの出展があり、4日間の入場登録者は約8万人であったとのこと。

毎朝開場前に来客のいないブースを見て回った。工夫と費用をかけ短期間での成果を上げるべく、各ブースでは関係者との諸準備に余念がなく緊張感さえ漂い、並々ならぬ意欲がうかがえ好ましい印象を受けた。

ウクライナからは16社が下記産品を出展した。

1. ヒマワリ、カボチャ、クルミ、からし、菜種、亜麻等、油糧作物の種子および豆類各種（ヒヨコ豆、レンズ豆、白インゲン豆、黒豆）
2. ブランデー（オデッサ地域のぶどうをベース）
3. 蜂蜜および蜂蜜入り関連焼き菓子
4. シリアル各種製品
5. 野生のブラックベリー 100%の無砂糖ペースト類、他多数

自然食品が中心で素朴なおいしさと安全性を強調して、パビリオン正面には黄色地に濃い緑の文字で「ウクライナの土と命が育んだ、豊かな実りの世界へようこそ！」と書かれた大看板がつるされ、栄養分をたっぷり含んだ黒土に恵まれた欧州でも有数の穀倉地帯であるという点を強くアピールしていた。

出展社の反応

・日本で初めて出展する会社が大半で、国内市場の特に販売ルートについて質問されることが多く、主に卸売業者の存在が社会主義時代の配給経済にはなかった機能故か、



ウクライナパビリオンにてスタッフと（右端が筆者）

その大きく市場に根を張った存在に強く印象づけられた模様。

・帰国後日本企業の名刺を頼りに商談が実現するまで上手くいくのか不安との本音を何社からか聞かされたので、コミュニケーションのお手伝いはいつでも可能と伝えた。

・来客がどの程度興味を持って訪問してくれたのかとの質問もあり、来客者の質問が具体的かつその数が多いかどうかを一つの目安にしたり、質問や依頼への回答は、丁寧かつ対応可否を明確にするよう助言した。

・複数の出展社から和文カタログの内容を見てほしいという希望があったが、どれも、文法上の間違いもなく非常に良く作成されていた。

・食品安全の流れでオーガニックとして商品を売り込みたいが、自国の認定機関に多額の費用と時間をかけねば認定取得ができないため、「自然食品」という名称にした経緯。

・出展社は同様な商品の日本での販売価格に関心があり、都内スーパーでの価格を伝えたところ非常に喜ばれた。

出展社から、日本の平均年収、家族構成、東京と地方の生活レベルの相違、食生活の実態、食の安全に関する意識、貧富の差、男女平等感、大企業と中小企業の役割、福島原発事故の影響（チェルノブイリとの比較）、行政機関と民間企業との接触度合い等の質問があり、日本市場への熱い意欲をひしひしと感じた。期間中ウクライナを売り込もうと駐日ウクライナ大使も訪れ、同大使館関係者が頻りにブースに来られるなど官民挙げての応援体制が取られていた。

最後に、今回のサポート業務に参加し、大変印象深い経験をさせていただき大きな収穫も得ることができ、このような機会を与えていただいたABIC関係者に深く感謝申し上げます。



イーホール・ハルチェンコ駐日ウクライナ特命全権大使（中央）と記念撮影（左端が筆者）

留学生支援

兵庫国際交流会館での活動

春の留学生支援バザー

4月12日（金）の新入館生歓迎会に続き、4月27日（土）に恒例の留学生支援バザーが開催された。2014年に開始してから10回目の開催になるが、新入館生約50人をはじめ既入館者を加え約140人がバザーに参加した。今回もABIC会員および支援企業とその社員、ならびに日本貿易会の役職員等から62箱を超える広範な品物を寄贈いただき、売上高は約5万円となった。この売上金は、同館の留学生支援活動に提供させていただいた。ご支援くださった皆さまには厚く感謝申し上げたい。

従来日曜日に開催していたのを日曜礼拝などの理由で今回は土曜日に変更した。その結果、あいにく大学の講義や行政機関の行事と重なり、学生の一部はバザーに参加できなかったとも聞いている。それでも、友人の依頼で購入する人も見られ1人当たりの購入額は前回より多かった。今回の特徴として、食器類、文具類、炊飯器、スチーマー、温水器、ホットプレート、テレビなど電化製品が多く出品され、取り合いになるシーンもあった。衣類ではTシャツとトランク스가安値で提供され、夏を控え多くの方が買い求めていた。4月に入館した学生はアジア系の学生が多いが、2018年秋に入館したアフリカ、シリアからの学生と

その家族も熱心に商品を探していた。皆さまから提供された生活必需品は、来日間もない学生に非常に好評で、関係者からは次回開催の要望があった。バザーは、交流会館のRA^(注)が運営したが、ABIC関西デスクも協力・参加した。ABIC関西デスクは、同館にて日本語広場や華道、空手、書道等の日本文化教室を2015年からスタートさせているが、さらに広範囲な学生支援活動を目指し、会員の皆さまにおかれては、お知り合いの方のご紹介も含めこの分野でのご支援、ご協力もお願いしたい。

（関西デスクコーディネーター）



東京国際交流会館での活動

新入館生歓迎会

5月9日（木）午後7時より東京国際交流会館で新入館生歓迎会が催された。米川英樹日本学生支援機構理事・東京国際交流会館館長のあいさつ、および山口俊之ABIC常務理事・事務局長の来賓代表あいさつ、RAによる活動紹介等のもと、新入館生、既入館者、職員、来賓等を合わせおよそ250人の歓談が行われた。広い体育館も満員となり80カ国から来た人たちの国際交流の場となった。

春の留学生支援バザー

歓迎会の2日後の5月11日（土）および12日（日）両日に恒例の留学生支援バザーが開催された。今回も開始1時間前から30人近くが初夏の風に吹かれ楽しそうに話しながら開場を待っていた。このバザーには社会貢献・ABIC委員会加盟企業とその社員、家族、個人会員、日本貿易会の役職員から118箱の品物を寄贈いただき、売上高は21万円となった。売上金は従来通り同館の留学生支援活動に提供させていただいた。ご支援くださった皆さまには厚く感謝申し上げたい。また今回も会場内にABICコーナーを

設け、日本語広場講師とコーディネーターが、ABICの活動や各種講座の説明、勧誘を行い20人の各種講座の申し込みを受けた。休日にもかかわらずご協力をいただいた講師の方々にお礼を申し上げたい。

（留学生支援担当コーディネーター）

（注）RA（Resident Assistant）両交流会館内それぞれに居住する日本人大学生で、外国人留学生の生活相談、イベント支援などをする。



ABIC事務局組織 (2019年7月1日より)

理事長 いわき ひろとし
岩城 宏斗し尚

常務理事・事務局長 みやざき ひろし
宮崎 浩志

事務局員 あおやぎ ゆき
青柳 友紀
あきもと
秋元 まゆみ

mail@abic.or.jp

コーディネーター (19名)

() は兼務者

- 総務・経理 めいきょう けいじ
名鏡 敬治
- 自治体・中小企業支援グループ かわまた じろう のづ ひろし しらいし いちろう たかつか けんじ
川俣 二郎、野津 浩、白石 一郎、高塚 謙次
smesupp@abic.or.jp
- 外国企業支援グループ にしやま かつあき
西山 勝昭、(宮内 雄史)
support@abic.or.jp
- 大学等講座グループ いがり まゆみ おんだ ひではる ばんの まきのり ますい てつじ
猪狩 真弓、恩田 英治、坂野 正典、増井 哲治
univ@abic.or.jp
- 小中高校国際理解教育グループ みやうち ゆうじ
宮内 雄史
krikai@abic.or.jp
- 留学生支援グループ たなか たけお くわがた いさお さかもと ひでき
田中 武夫、鋤形 勲、坂本 英樹
abicodaiba@abic.or.jp
- 関西デスク ふじわら てるあき たちはな ひろし よしとみ しげたか まつお けんじ かしむら かつる
藤原 照明、橘 弘志、吉富 茂隆、松尾 謙二、鹿志村 馨
kansai-desk@abic.or.jp

e-mailアドレス・住所等の変更届けはお忘れなく！

e-mail アドレス・住所などの変更がありましたらご連絡ください。
転居先不明で返送される例が増えています。

e-mail : mail@abic.or.jp FAX. 03-3435-5970

会員の種類

種類	内容	年会費
正会員	センターの趣旨に賛同し、活動を推進し、会費を納める個人、法人および団体。(理事会の承認を得て入会)	法人および団体 1口 50,000円
		個人 1口 10,000円
賛助会員	センターの趣旨に賛同し、会費を納める活動会員、ならびに個人、法人および団体。	法人および団体 1口 10,000円
		個人 1口 5,000円
活動会員	センターの趣旨に賛同し、事業に参加しようとする個人。	不要 — —

(2019年5月末現在)

正会員

法人・団体 (16社、1団体) (社名五十音順)

〈10口〉 伊藤忠商事(株) 住友商事(株) 双日(株) 豊田通商(株) 丸紅(株) 三井物産(株) 三菱商事(株) (一社)日本貿易会
 〈4口〉 (株)日立ハイテクノロジーズ 〈2口〉 稲畑産業(株) 岩谷産業(株) 長瀬産業(株) 阪和興業(株)
 〈1口〉 兼松(株) 興和(株) JFE商事(株) 蝶理(株)

個人 (13名) (敬称略・氏名五十音順)

〈3口〉 槍田松瑩 勝俣宣夫 中村邦晴
 〈1口〉 池上久雄 市村泰男 岡 素之 小島順彦 小林栄三 齊藤秀久 佐々木幹夫
 寺島実郎 宮原賢次 吉田靖男

賛助会員

法人・団体 (2社、1団体) (社名五十音順)

〈3口〉 (特非)賛否両論 〈1口〉 (有)イーコマース研究所 (株)エックス・エヌ

個人 (290名) (敬称略・氏名五十音順)

〈5口〉 廣瀬一郎 〈3口〉 前田茂 〈2口〉 遠藤寿一 小川秀洋 川島一郎 川俣二郎 久佐賀義光 公平伸夫
 古知屋順 笹倉優 三幣利夫 白石一郎 新藤哲雄 関伊知郎 高廣次郎 多田勝彦 田中武夫 新妻純一 野津浩
 原芳道 坂東寛隆 藤井眞 細田邦雄 前田耿史 松尾謙二 宮内雄史 名鏡敬治 山田芳正 山本一良
 〈1口〉 相澤裕 相原正和 青木克彦 赤尾義弘 赤澤克夫 赤津光一 芦刈茂樹 東光子 安達公一 安達晋
 厚浦孝之 安部忠 阿部道弘 荒尾紀倫 荒木幸成 安齋正行 居内律治 猪狩眞弓 生島幸哉 石田新一 石橋満
 市川彬 伊藤栄太郎 伊東孝之 伊東泰 伊藤政志郎 井上泰日子 今井明良 今井正孝 今井義人 植木正憲
 上田巖 植田俊 上田博晟 上野和郎 植村頼母 上森義美 宇佐見和彦 漆崎隆司 江藤茂雄 榎友嘉
 榎本啓一郎 榎本盛明 江幡吉信 遠藤研二 遠藤眞喜子 大木隆 大久保浩司 大久保徳衛 大藏八郎 大浩義之
 大坂和夫 太田俊一 大西稔男 大橋幸多 小笠原明生 岡部紘 岡本徹 小口良喜 小國輝雄 小澤清水

(賛助会員続々)

小畑克之 織辺重之 恩田英治 柿山章 角井信行 加古良二 鹿志村馨 糟谷純一 片野無事生 加藤貴美恵
 加藤恒 嘉根俊治 金子和夫 河崎隆夫 川嶋則男 川村勝司 川本康博 閑林亨平 岸達也 吉川和夫 木村正文
 久木田修司 櫛田光彦 楠井裕章 工藤章 久保山毅 倉地弘之 倉光恭三 黒岩浩一 黒岡誠一 鏝形勲
 神野俊昭 郷原康親 古園井良 小西悟 小林正己 小室洋三 近野治夫 坂井啓治 坂上恵一 坂本章 坂本英樹
 坂本行正 崎尾収 櫻井明彦 笹岡太一 笹岡治男 佐藤貴実雄 佐藤隆二 澤田豊治 塩野寛次 志岐明弘
 柴崎敏男 柴田芳孝 島谷豊 白土茂雄 城田比佐子 杉浦康之 杉下由紀子 鈴木成高 鈴木高裕 鈴木紘司
 鈴木昌宏 鈴木松子 須藤實 関晃典 関統造 関口幸男 園田真一 埜本一雄 高木純夫 高崎浩敏 高嶋宏臣
 高田弘 鷹津俊一 高塚謙次 高梨和彦 竹下浩 竹田信志 竹田真奈美 田島基二 橘弘志 辰己元英 田中昭彦
 田中剛 田中徹郎 田中理明 田邊正明 谷川達夫 谷口武彦 玉木興島 淡野武司 柘植要介 辻萬亀雄
 土屋英五 都築秀之 津守克平 手塚正明 寺田好純 東宮邦雄 遠山晃 戸川順治 徳田均 都丸啓吉 友國洋
 豊原道雄 中倉弘紀 長坂保男 中島隆一 中園智子 仲田慎太郎 永田明司 中西孝之 永峰千年 中村彰秀
 名達博吉 成重正和 成田孝 西以久夫 西川裕治 西澤俊一 西山勝昭 新田充成 根岸史修 橋本政彦 橋本勝
 畑宏幸 花岡信明 羽生憲夫 馬場克彦 浜田元雄 早川俊一郎 原田純 葉利博 坂野正典 日笠徹 疋田和三
 菱川治 日野武彦 福田毅 福永信一 藤井重隆 藤田卓 藤村登 藤原照明 布施克彦 舟橋金之介 船見義克
 保坂庄司 堀江博 前田祥治 前田直明 増井哲治 増田政靖 増本光男 松下敏明 松村直治 松本時男 松山功
 松山久 三神博美 味田村正行 三栗敏 峯本晴輝 宮内貴正 宮内正敬 宮川正裕 宮越忠晴 宮本正明
 武藤滋郎 本村博志 森岳三 森和重 森川建夫 森田貴彦 森松直毅 矢尾板健二 柳田敏明 山内文裕
 山岸正雄 山口信行 山田雅司 山中健司 山邑陽一 山本秀一 山本博勝 山脇隆司 横井正豊 横田納
 横山泰雄 吉川正男 吉澤正浩 吉田紘 吉田房子 吉田泰興 吉富茂隆 米谷俊二 鷺頭三郎 和田洋 渡邊春樹

活動会員 2,907名

賛助会員入会のお願ひ

ABICの活動にご賛同いただき、資金的な援助をしていただける活動会員およびその他の個人の方、
 ならびに法人および団体の皆さまのご入会をお願い申し上げます。

会員入会のお問い合わせ・連絡先

特定非営利活動法人 国際社会貢献センター (ABIC)

〒105-6123 東京都港区浜松町2-4-1 世界貿易センタービル23F

TEL : 03-3435-5973 FAX : 03-3435-5970 E-mail : mail@abic.or.jp